

環境保全のための我孫子市率先行動計画

我孫子市地球温暖化対策実行計画

あびこエコ・プロジェクト5

2024（令和6）年度温室効果ガス排出量等調査結果報告書

2025（令和7）年11月

我孫子市

目次

温室効果ガス総排出量の削減.....	1
法律改正による地球温暖化係数等の変更について.....	2
1 温室効果ガス総排出量の状況.....	3
2 個別項目別の温室効果ガス排出量の状況.....	4
(1) 施設利用に伴う燃料.....	4
(2) 自動車利用に伴う燃料.....	8
(3) 電気使用量.....	11
(4) 一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理.....	12
3 施設別の温室効果ガス排出量の状況.....	13
4 使用量の状況.....	15
(1) 施設及び自動車における燃料使用量.....	15
(2) 電気使用量.....	15
環境への負荷の低減.....	16
1 市の事務事業（自動車の利用）.....	17
(1) 排気ガスによる負荷の低減に係る状況.....	17
2 市の事務事業（施設の利用）.....	18
(1) ごみの減量・リサイクルの推進に係る状況.....	18
(2) 水の適正な利用に係る状況.....	21
(3) 再生可能エネルギー導入に係る状況.....	22
3 自然の利用.....	23
(1) 緑の損失等による影響の低減（生き物との共存）に係る状況.....	23
市民・事業者の環境に配慮した行動の促進.....	25
1 一般廃棄物焼却量（前掲のとおり）.....	26
2 補助事業の交付状況.....	26
3 ノーカーダー実施率.....	31

温室効果ガス総排出量の削減

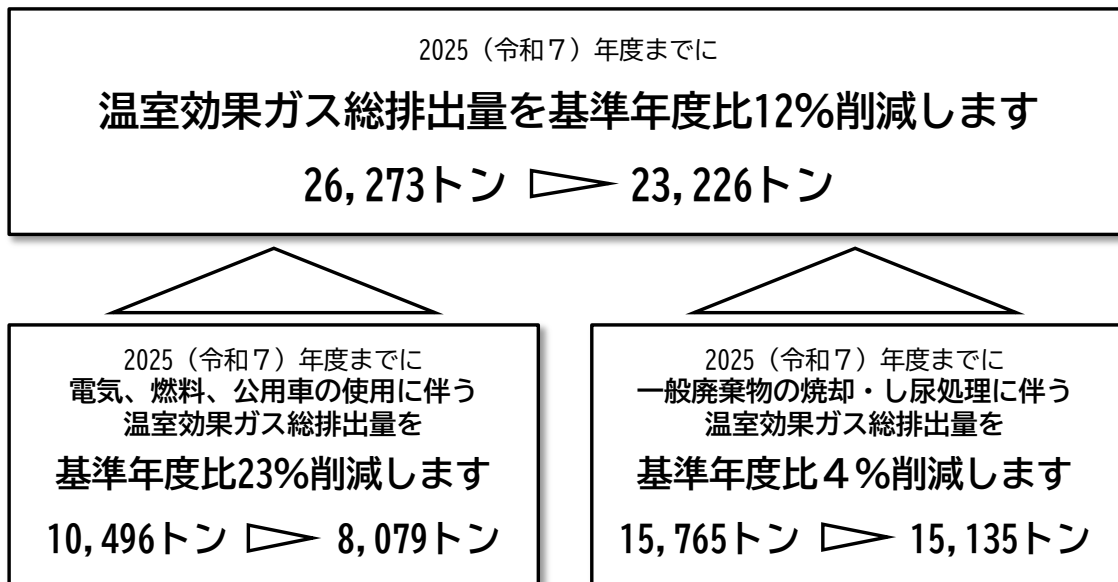
～ 地球温暖化対策実行計画の推進 ～

我孫子市（以下、「本市」という。）では、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を2001（平成13）年度に策定し、2021（令和3）年度から第五次計画に移行し、取り組みを継続実行しています。

しかし、計画期間中に国の地球温暖化対策計画の改定が閣議決定され、「2030年度までの温室効果ガス排出量の削減目標について2013年度比26%から46%」に変更されました。このため、本市は目標値等の整合をとるべく、2024（令和6）年3月にあびこエコ・プロジェクト5を改定しました。

- 第一次計画（計画期間：2001（平成13）年度～2005（平成17）年度）
- 第二次計画（計画期間：2006（平成18）年度～2010（平成22）年度）
- 第三次計画（計画期間：2011（平成23）年度～2015（平成27）年度）
- 第四次計画（計画期間：2016（平成28）年度～2020（令和2）年度）
- 第五次計画（計画期間：2021（令和3）年度～2025（令和7）年度）

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）においては、電気・燃料等の使用量、廃棄物焼却量等について集計し、本市が直接実施する事務・事業から排出される温室効果ガス排出量を毎年公表しています。



出典：「あびこエコ・プロジェクト5 改定版」における本市の削減目標

図1 温室効果ガス総排出量の削減に係る目標

法律改正による地球温暖化係数等の変更について

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の基となる「地球温暖化対策の推進に関する法律」について、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令の一部を改正する政令（令和5年政令第272号）」が2023（令和5）年9月1日に公布され、2024（令和6）年4月1日に施行されました。この改正により、地球温暖化係数の変更や都市ガスにおける事業者別係数が導入されました。

このことを受け、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）においても2023（令和5）年度実績以降、下記の通り改正後の地球温暖化係数等を用い温室効果ガス排出量を算定します。

表1 地球温暖化係数の変更

温室効果ガスである物質	地球温暖化係数 (改正前)	地球温暖化係数 (改正後)
二酸化炭素	1	1
メタン	25	28
一酸化二窒素	298	265
ハイドロフルオロカーボン	12～14,800	4～12,400
パーフルオロカーボン	7,390～17,340	6,630～11,100
六ふっ化硫黄	22,800	23,500
三ふっ化窒素	17,200	16,100

表2 算定に用いる排出係数の変更

項目	単位	2023（令和5）年度 排出係数（改正前）	2023（令和5）年度 排出係数（改正後）
都市ガス	kg-CO ₂ /m ³	2.23	2.05 ※代替値（省令の排出係数）

＝LAPSS（「地方公共団体実行計画支援システム」）の導入について＝

当市では、従来より温室効果ガス排出量の算定作業を外部の専門業者に委託をしていましたが、令和7年度（令和6年度算定分）から、環境省が自治体向けに提供している算定支援システム（LAPSS）を導入しました。

これにより、システムにエネルギー使用量等を入力することで、国の算定マニュアルに沿った算定結果を即座に出すことができるようになりました。

1 温室効果ガス総排出量の状況

2024（令和6）年度の温室効果ガス排出量は、25,967 t-CO₂となり、基準年度から1.2%減少となりました。内訳としては、電気、燃料、公用車の使用に伴う温室効果ガス排出量が22.1%の減少、ごみの焼却に伴う温室効果ガス排出量が13.2%の増加となっています。

表3 温室効果ガス総排出量の状況

区分	単位	第五次計画						
		基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	26,273	26,506	24,574	26,076	25,967	-1.2%	23,226
電気、燃料、公用車の 使用に伴う温室効果ガス	t-CO ₂	10,508	10,006	9,950	8,688	8,185	-22.1%	8,091
燃料の使用(施設)	t-CO ₂	2,174	2,238	2,570	2,141	2,246	+3.3%	1,673
燃料の使用(自動車)	t-CO ₂	320	283	305	318	322	+0.5%	246
電気の使用	t-CO ₂	8,002	7,475	7,064	6,219	5,608	-29.9%	6,160
その他	t-CO ₂	12	11	11	10	10	-16.7%	12
ごみの焼却	t-CO ₂	15,435	16,177	14,301	17,072	17,466	+13.2%	14,818
し尿処理	t-CO ₂	330	323	323	316	315	-4.4%	317
対前年増減量	t-CO ₂	—	—	-1,933	1,502	-109	-0.4%	—
対基準年累積増減量	t-CO ₂	—	—	-1,699	-197	-306	-1.2%	-12.0%

備考) 1 その他：自動車の走行量、HFC

2 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

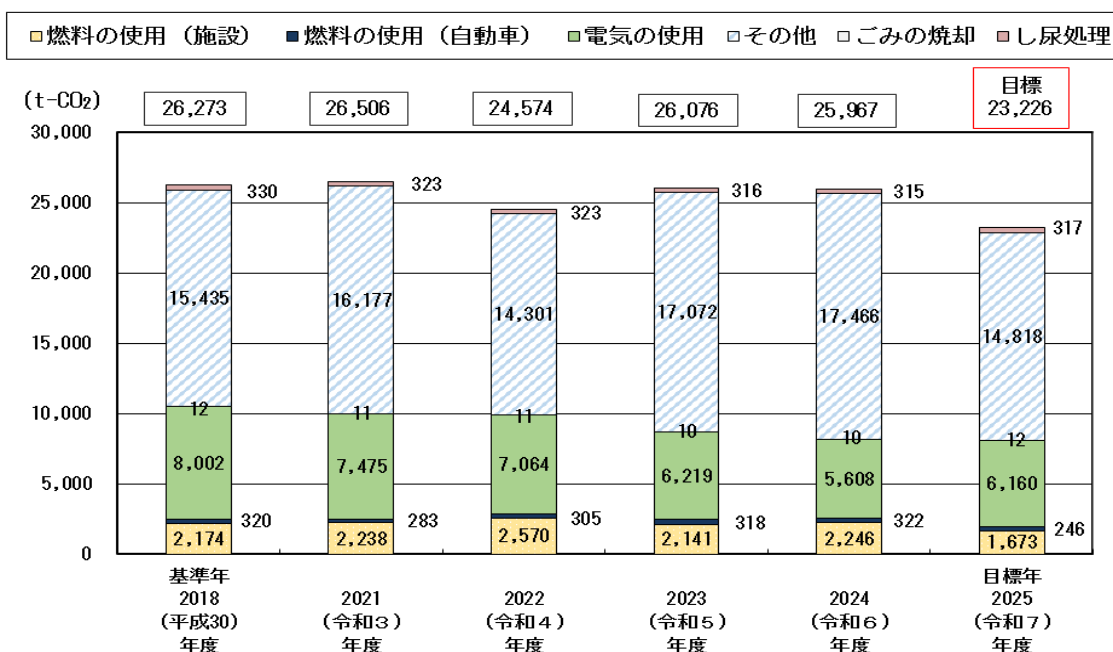


図2 温室効果ガス総排出量の状況

2 個別項目別の温室効果ガス排出量の状況

(1) 施設利用に伴う燃料

施設利用に伴う燃料使用量は、項目ごとに二酸化炭素排出量に換算し、その値の合計値において基準値より23%削減することを目指しています。

2024（令和6）年度における温室効果ガス排出量は2,245,488kg-CO₂であり、基準年度の2,174,178kg-CO₂と比較して71,310kg-CO₂増加しました。

燃料使用量を各種燃料別にみると、基準年度と比較して軽油、灯油、都市ガスの使用量が増加しています。軽油の増加については、水道局において浄水場の非常用自家発電装置に軽油を使用するようになったこと、灯油の増加については、新クリーンセンターにおいて水分量の多いごみの焼却量が増加したことが要因として挙げられます。

表4 使用量及び温室効果ガス排出量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
ガソリン	23%削減	L	420 (974)	655 (1,520)	616 (1,429)	235 (545)	361 (838)	-14.0% -(14.0%)	323 (749)
軽油	23%削減	L	125 (323)	5 (13)	60 (155)	50 (129)	1,315 (3,419)	952.0% (958.5%)	96 (249)
灯油	23%削減	L	16,427 (40,893)	19,937 (49,642)	124,169 (309,180)	54,825 (136,514)	87,305 (217,344)	431.5% (431.5%)	12,637 (31,467)
A重油	23%削減	L	37,836 (102,521)	25,917 (70,235)	29,894 (81,013)	35,661 (96,641)	34,225 (92,737)	-9.5% -(9.5%)	29,110 (78,888)
LPガス	23%削減	kg	31,615 (94,845)	9,878 (29,633)	18,332 (54,996)	17,859 (53,577)	17,947 (53,821)	-43.2% -(43.3%)	24,327 (72,982)
都市ガス	23%削減	m ³	865,975 (1,934,622)	935,838 (2,086,918)	952,352 (2,123,464)	904,335 (1,853,887)	915,770 (1,877,329)	5.8% -(3.0%)	667,563 (1,488,665)
温室効果ガス 排出量	23%削減	kg-CO ₂	2,174,178	2,237,961	2,570,236	2,141,293	2,245,488	3.3%	1,673,000

- 備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。
 3 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

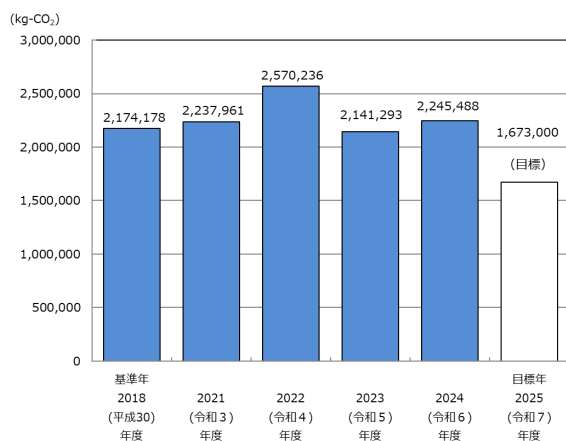


図3 温室効果ガス排出量の状況

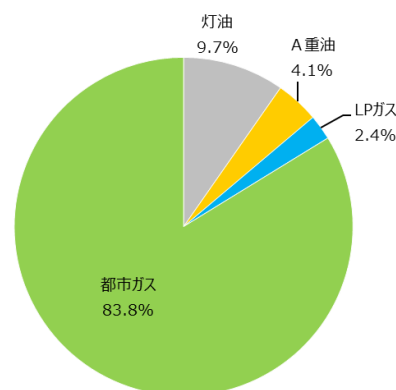


図4 温室効果ガス排出割合の状況

① ガソリンの使用量

2024（令和6）年度のガソリンの使用量は361Lであり、基準年の420Lと比較すると59L、割合にして14.1%減少しました。温室効果ガス排出量は838kg-CO₂であり、基準年の974kg-CO₂と比較して136kg-CO₂減少しました。

目標値（323L）と比較すると、38L（温室効果ガス排出量は89kg-CO₂）超過しています。

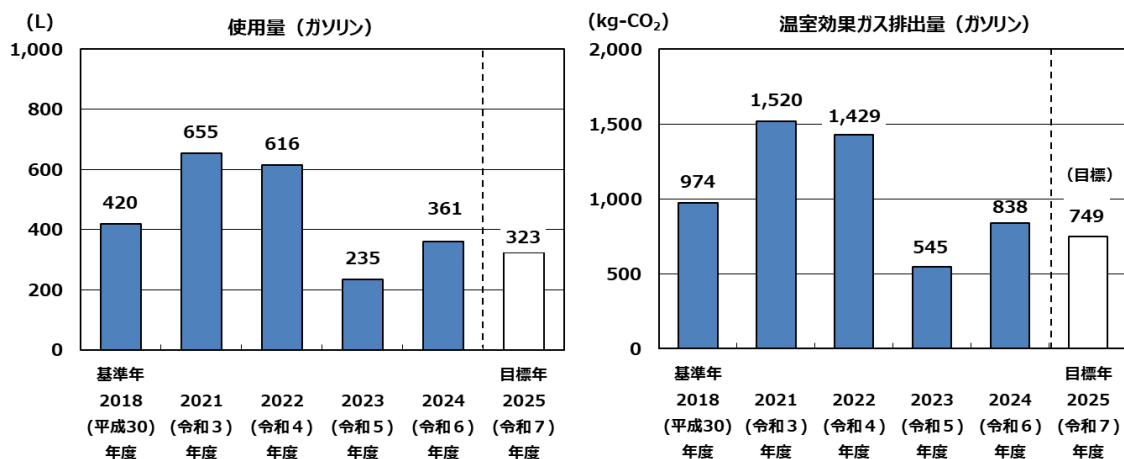


図5 使用量及び温室効果ガス排出量【ガソリン】

② 軽油の使用量

2024(令和6)年度の軽油の使用量は1,315Lであり、基準年の125Lと比較すると1,190L、割合にして952%増加しました。温室効果ガス排出量は3,419kg-CO₂であり、基準年の323kg-CO₂と比較して3,096kg-CO₂増加しました。

目標値（96L）と比較すると、1,219L（温室効果ガス排出量は3,170kg-CO₂）超過しています。

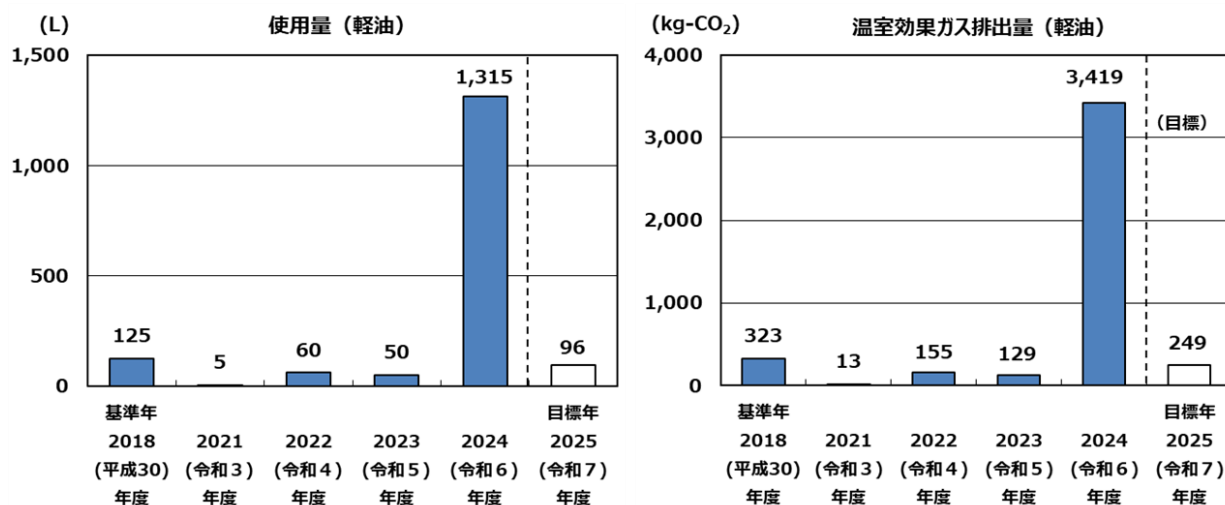


図6 使用量及び温室効果ガス排出量【軽油】

③ 灯油の使用量

2024（令和6）年度の灯油の使用量は87,305Lであり、基準年の16,427Lと比較すると70,878L、割合にして431.4%増加しました。温室効果ガス排出量は217,344kg-CO₂であり、基準年の40,893kg-CO₂と比較して176,451kg-CO₂増加しました。

目標値（12,637L）と比較すると、74,668L（温室効果ガス排出量は185,877kg-CO₂）超過しています。

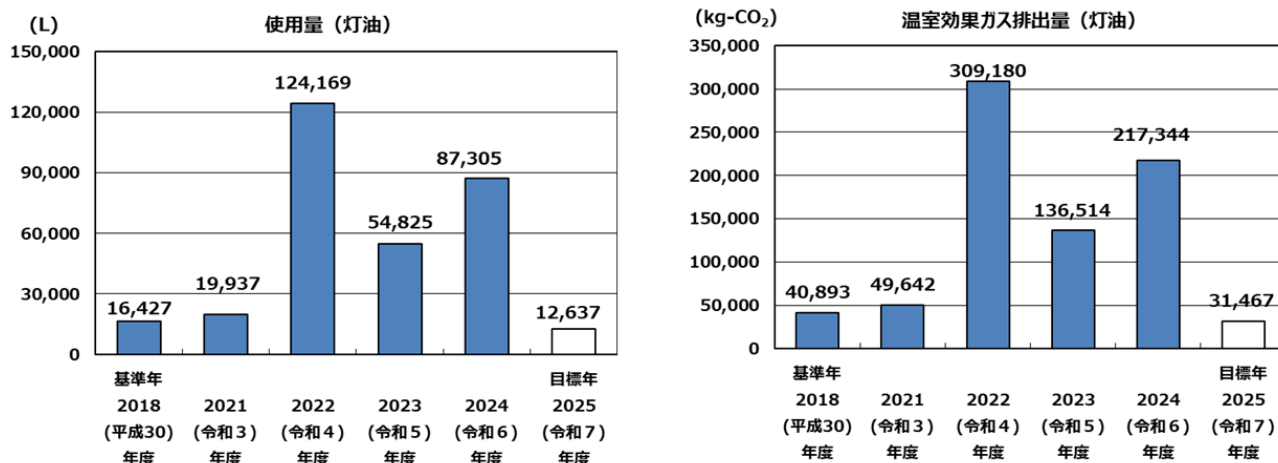


図7 使用量及び温室効果ガス排出量【灯油】

④ A重油の使用量

2024（令和6）年度のA重油の使用量は34,225Lであり、基準年の37,836Lと比較すると3,611L、割合にして9.6%減少しました。温室効果ガス排出量は92,737kg-CO₂であり、基準年の102,521kg-CO₂と比較して9,784kg-CO₂減少しました。

目標値（29,110L）と比較すると、5,115L（温室効果ガス排出量は13,849kg-CO₂）超過しています。

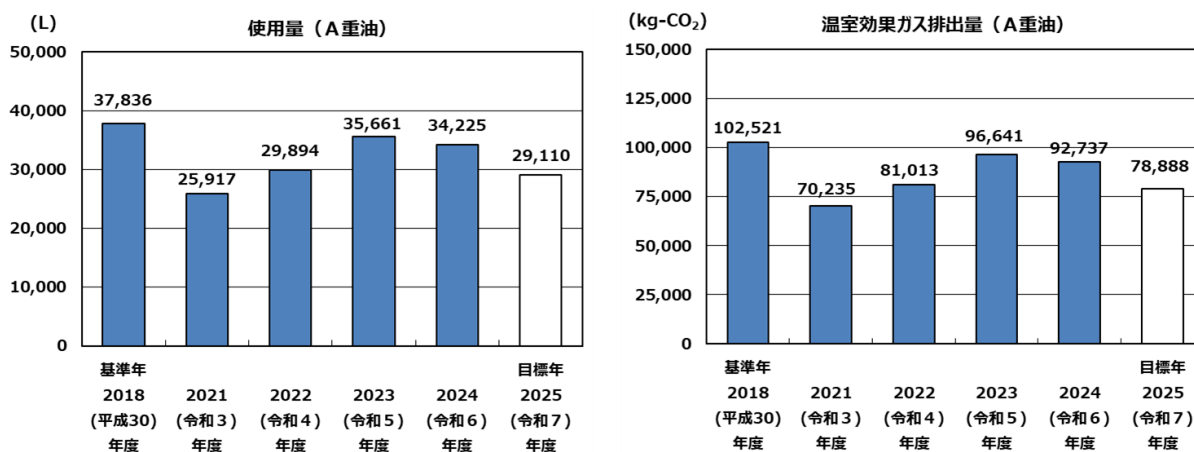


図8 使用量及び温室効果ガス排出量【A重油】

⑤ LPガスの使用量

2024（令和6）年度のLPガスの使用量は17,947kgであり、基準年の31,615kgと比較すると13,668kg、割合にして43.2%減少しました。温室効果ガス排出量は53,821kg-CO₂であり、基準年の94,845kg-CO₂と比較して41,024kg-CO₂減少しました。

目標値（24,327kg）と比較すると、6,380kg（温室効果ガス排出量は19,161kg-CO₂）下回り、目標を達成しています。

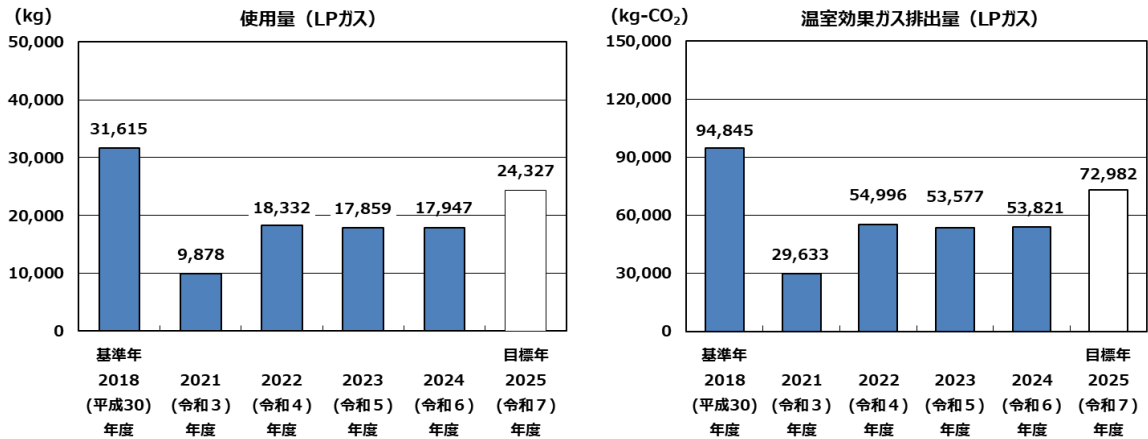


図9 使用量及び温室効果ガス排出量【LPガス】

⑥ 都市ガスの使用量

2024（令和6）年度の都市ガスの使用量は915,770 m³であり、基準年の865,975 m³と比較すると49,795 m³、割合にして5.8%増加しました。温室効果ガス排出量は1,877,329kg-CO₂であり、基準年の1,934,622kg-CO₂と比較して57,293kg-CO₂減少しました。

目標値（667,563 m³）と比較すると、248,207 m³（温室効果ガス排出量は388,664kg-CO₂）超過しています。

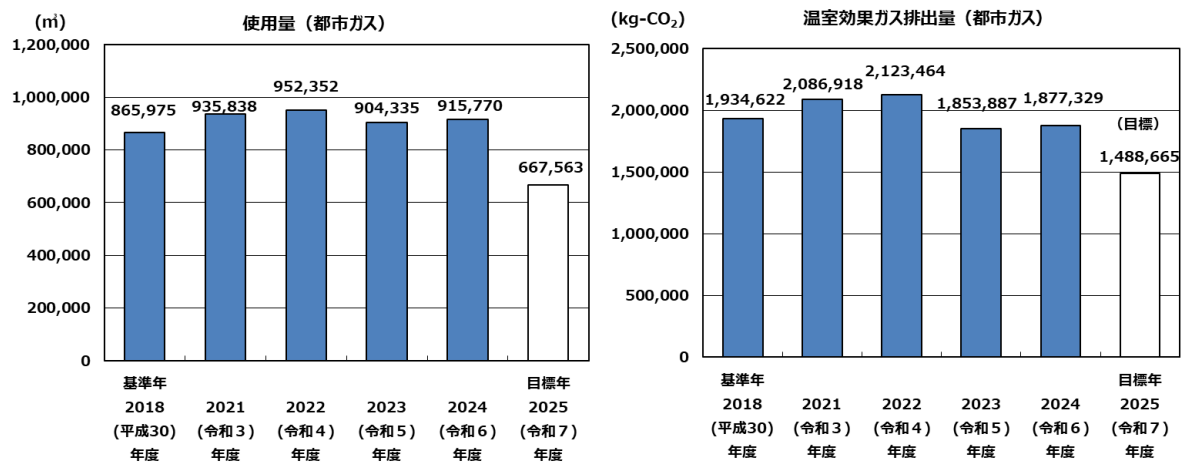


図10 使用量及び温室効果ガス排出量【都市ガス】

(2) 自動車利用に伴う燃料

自動車利用に伴う燃料使用量は、項目ごとに二酸化炭素排出量に換算し、その値の合計値において基準値より 23%削減することを目指しています。

2024（令和6）年度における温室効果ガス排出量は 320,791kg-CO₂ であり、基準年度の 320,181kg-CO₂ と比較して 610kg-CO₂ 増加し、目標としている 23%の削減には至りませんでした。

2024（令和6）年度における燃料別の温室効果ガス排出割合は、ガソリンが 77.9%を占めており、軽油が 18.5%、LP ガスが 3.6%となりました。

表5 使用量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
ガソリン	23%削減	L	97,816 (226,933)	93,580 (217,106)	103,190 (239,402)	108,204 (251,033)	107,729 (250,110)	10.1% (10.2%)	75,154 (174,356)
軽油	23%削減	L	21,853 (56,383)	20,237 (52,211)	20,854 (53,803)	20,139 (51,959)	22,999 (59,451)	5.2% (5.4%)	16,791 (43,320)
LPガス	23%削減	kg	12,288 (36,865)	4,465 (13,396)	3,926 (11,777)	4,987 (14,961)	3,841 (11,520)	-68.7% (-68.8%)	9,441 (28,324)
温室効果ガス 排出量	23%削減	kg-CO ₂	320,181	282,713	304,981	317,953	321,081	0.3%	246,000

- 備考) 1 温室効果ガス排出量は各燃料使用に伴う排出量の合計値です。
 2 () 内の値は温室効果ガス排出量(単位: kg-CO₂) です。
 3 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

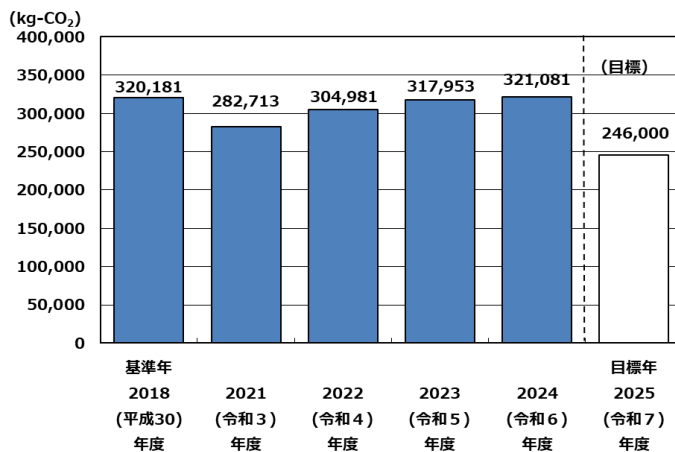


図11 温室効果ガス排出量の状況

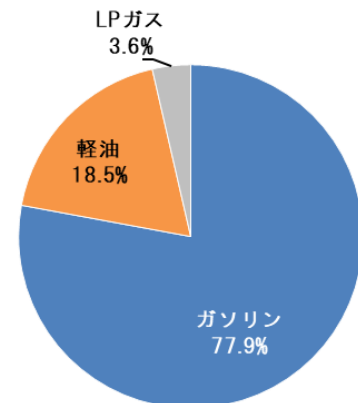


図12 温室効果ガス排出割合の状況

① ガソリンの使用量

2024（令和6）年度のガソリンの使用量は107,729Lであり、基準年の97,816Lと比較すると9,913L、割合にして10.1%増加しました。温室効果ガス排出量は250,110kg-CO₂であり、基準年の226,933kg-CO₂と比較して23,177kg-CO₂増加しました。

目標値（75,154L）と比較すると、32,575L（温室効果ガス排出量は75,754kg-CO₂）超過しています。

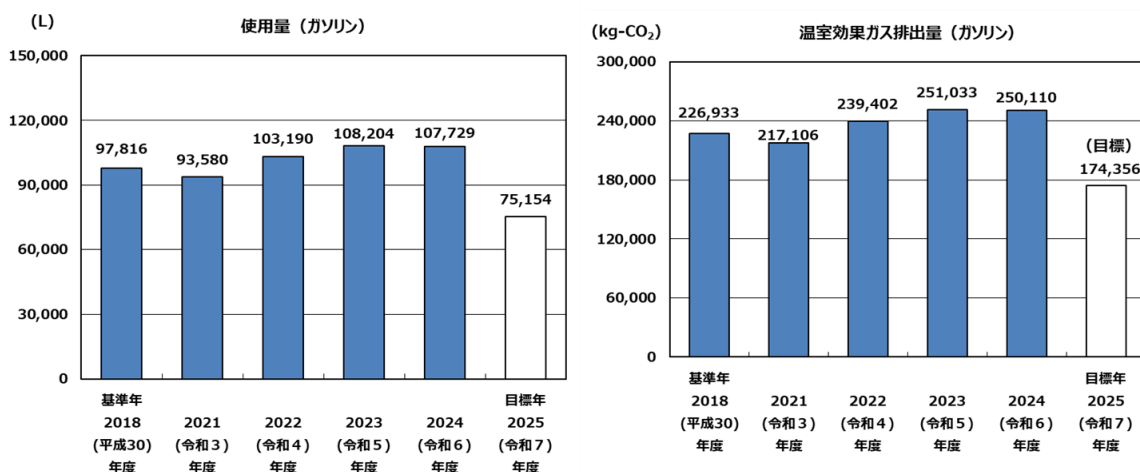


図13 使用量及び温室効果ガス排出量【ガソリン】

② 軽油の使用量

2024（令和6）年度の軽油の使用量は22,999Lであり、基準年の21,853Lと比較すると1,146L、割合にして5.3%増加しました。温室効果ガス排出量は59,451kg-CO₂であり、基準年の56,383kg-CO₂と比較して3,068kg-CO₂増加しました。

目標値（16,791L）と比較すると、6,208L（温室効果ガス排出量は16,131kg-CO₂）超過しています。

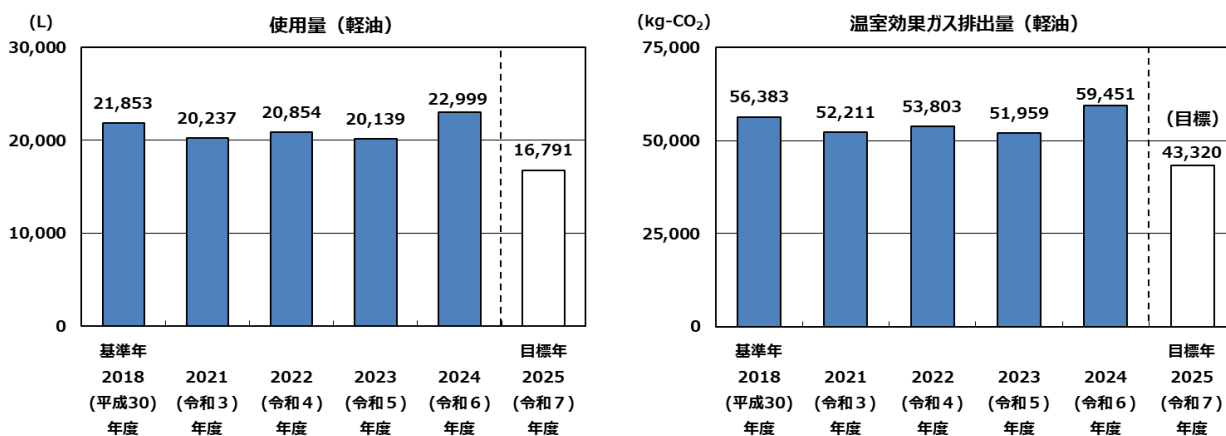


図14 使用量及び温室効果ガス排出量【軽油】

③ LP ガスの使用量

2024（令和6）年度のLPガスの使用量は3,841kgであり、基準年の12,288kgと比較すると8,447kg、割合にして68.7%減少しました。温室効果ガス排出量は11,520kg-CO₂であり、基準年の36,865kg-CO₂と比較して25,345kg-CO₂減少しました。

目標値（9,441kg）と比較すると、5,600kg（温室効果ガス排出量は16,804kg-CO₂）下回り、目標を達成しています。

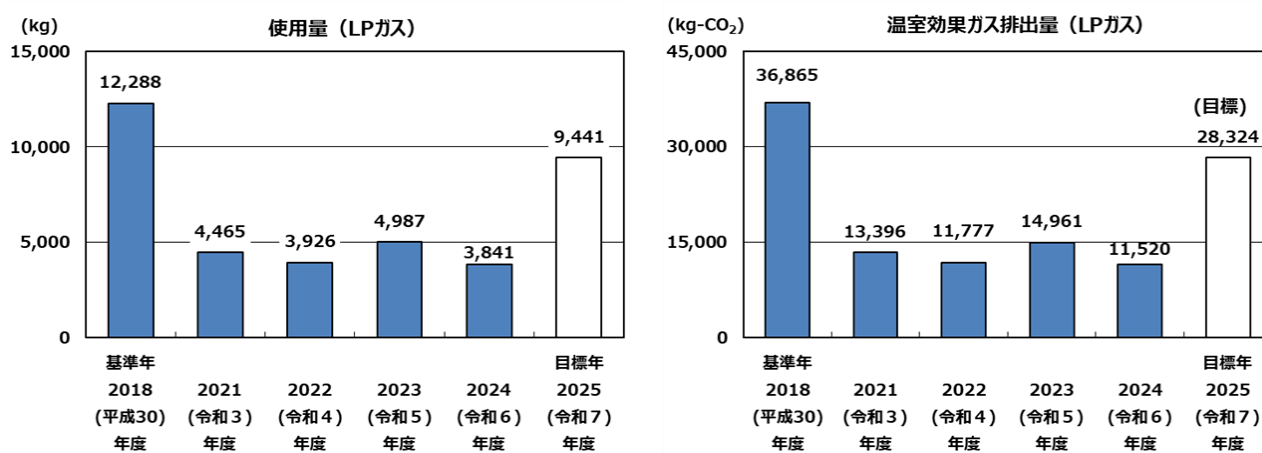


図 15 使用量及び温室効果ガス排出量【LP ガス】

(3) 電気使用量

2024（令和6）年度の電気使用量は13,342,372kWhであり、基準年の15,930,184kWhと比較すると2,587,812kWh、割合にして16.2%減少しました。温室効果ガス排出量は5,607,900kg-CO₂であり、基準年の8,002,098kg-CO₂と比較して2,394,198kg-CO₂減少しました。

目標値と比較すると、使用量は1,079,346kWh超過していますが、温室効果ガス排出量は552,100kg-CO₂削減となり、目標を達成しています。

表6 使用量及び温室効果ガス排出量【電気使用量】

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
電気使用量	23%削減	kWh	15,930,184 (8,002,098)	16,784,570 (7,474,805)	15,708,830 (7,063,569)	13,531,288 (6,218,758)	13,342,372 (5,607,900)	-16.2% -(29.9%)	12,263,026 (6,160,000)

備考) 1 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。

2 電気の使用による温室効果ガス排出量は、各電気事業者別の排出係数により算定しています。

また、排出係数は、各年度の算定時に把握できる最新のものを使っています。

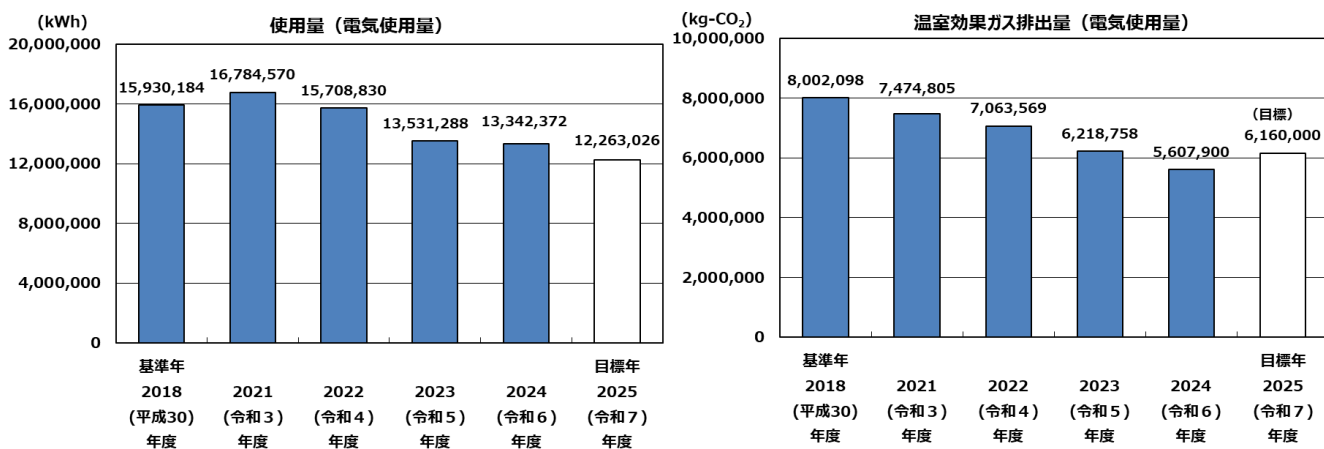


図16 使用量及び温室効果ガス排出量【電気使用量】

(4) 一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理

一般廃棄物焼却量（廃プラスチック焼却量）及びし尿処理に伴う温室効果ガス排出量は、基準年より4%削減することを目指しています。

2024（令和6）年度の一般廃棄物焼却量は29,756 tであり、基準年の28,498 tと比較すると1,258 t、割合にして4.4%増加しました。温室効果ガスは、17,466,012kg-CO₂であり、基準年の15,434,947kg-CO₂と比較して2,031,065kg-CO₂増加しました。

廃プラスチック焼却量は6,323 tであり、基準年の5,555 tと比較すると768 t、割合にして13.8%増加しました。温室効果ガスは、17,018,129kg-CO₂であり、基準年の14,952,751kg-CO₂と比較して、2,065,378kg-CO₂増加しました。

目標値（27,358 t）と比較すると、2,398 t（温室効果ガス排出量は2,648,463kg-CO₂）超過しています。

表7 一般廃棄物焼却量及び温室効果ガス排出量

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
一般廃棄物焼却量	4%削減	t	28,498 (15,434,947)	29,538 (16,176,449)	26,749 (14,301,030)	29,029 (17,070,196)	29,756 (17,466,012)	4.4% (13.2%)	27,358 (14,817,549)
剪定枝木・脱水ケーキ 焼却量		t	2,823	2,620	2,969	469	534	-81.1%	-
廃プラスチック以外焼却 量		t	22,943 (482,196)	23,714 (499,793)	21,603 (452,599)	22,850 (436,954)	23,433 (447,883)	2.1% (-7.1%)	22,025 (462,908)
廃プラスチック焼却量	4%削減	t	5,555 (14,952,751)	5,824 (15,676,656)	5,145 (13,848,431)	6,180 (16,633,242)	6,323 (17,018,129)	13.8% (13.8%)	5,333 (14,354,641)
し尿処理	4%削減	t	(329,705)	(323,449)	(323,160)	(315,845)	(315,365)	-(4.3%)	(317,000)

- 備考) 1 () 内の値は温室効果ガス排出量（単位：kg-CO₂）です。
 2 廃プラスチック焼却量の廃プラ率は18.1%で固定しています。新クリーンセンターによる実測値はR5年度：22.45% R6年度：27.7%となっています。
 3 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

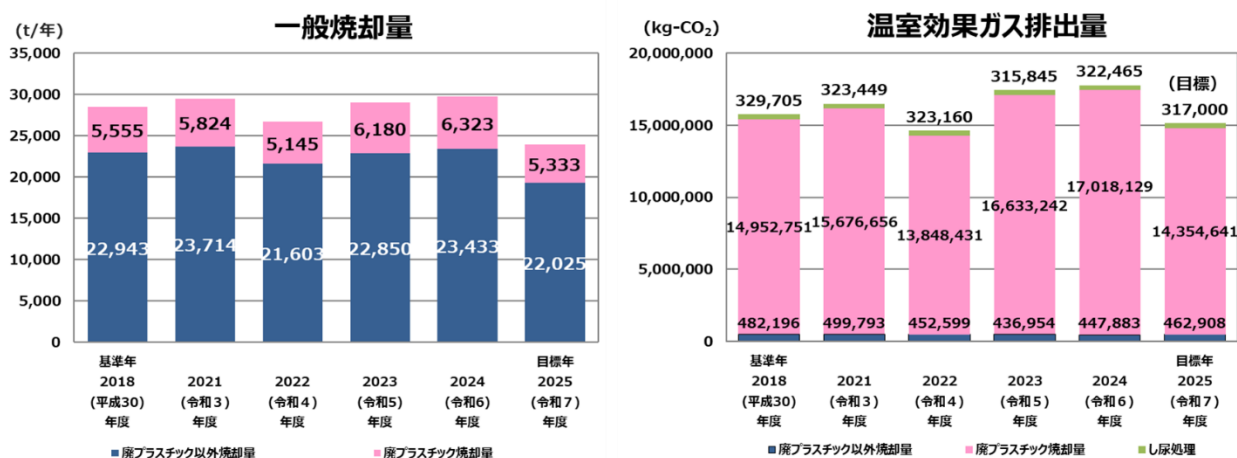


図17 焼却量及び温室効果ガス排出量

3 施設別の温室効果ガス排出量の状況

「あびこエコ・プロジェクト5 改定版」では、電気・燃料等に係る温室効果ガスの削減目標（23%削減）を、施設ごとに一律にあてはめた参考値を設定し、全体の目標達成に向けた進捗状況を把握しています。

2024（令和6）年度においても、我孫子市ではクリーンセンターの事業活動（ごみの焼却）に伴う温室効果ガス排出量が全体の7割を占めています。

表8 施設別の温室効果ガス排出量

区 分	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	%
市役所庁舎(本庁舎、東別館、西別館、分館)	1,668	1,585	1,074	1,565	1,153	-30.9%
市役所庁舎(本庁舎)	359	398	366	361	427	18.9%
市役所庁舎(東別館)	1,106	938	472	954	476	-57.0%
市役所庁舎(西別館)	181	230	217	226	232	28.3%
市役所庁舎(分館)	22	19	20	24	19	-14.5%
水の館	378	296	152	280	242	-36.0%
行政サービスセンター	32	146	84	82	74	131.3%
コミュニティ施設	574	396	424	396	441	-23.1%
福祉施設	411	314	378	404	372	-9.4%
保育園	121	125	121	114	69	-42.8%
クリーンセンター	17,447	18,088	16,672	17,766	18,090	3.7%
消防本部	324	272	295	285	289	-10.9%
水道局	1,815	1,817	1,844	1,666	1,562	-13.9%
教育委員会	888	755	768	715	797	-10.2%
学校	2,615	2,713	2,763	2,803	2,876	10.0%
我孫子市(全体)	26,273	26,506	24,574	26,076	25,967	-1.2%

備考) 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

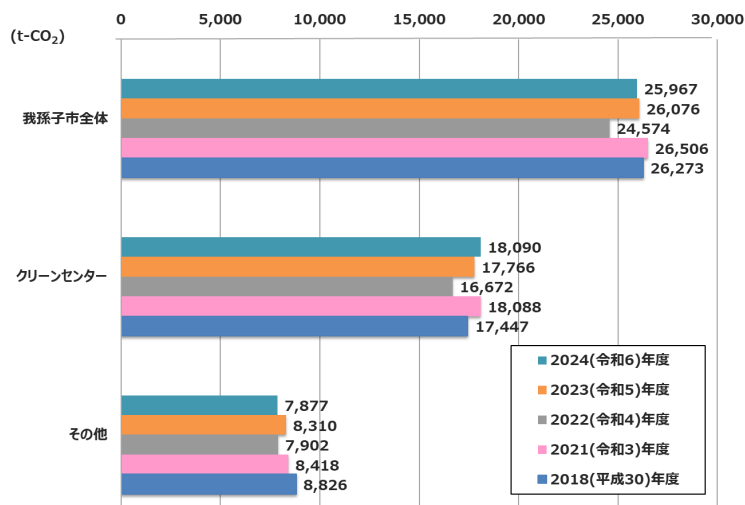


図18 市全体の温室効果ガス排出量比較

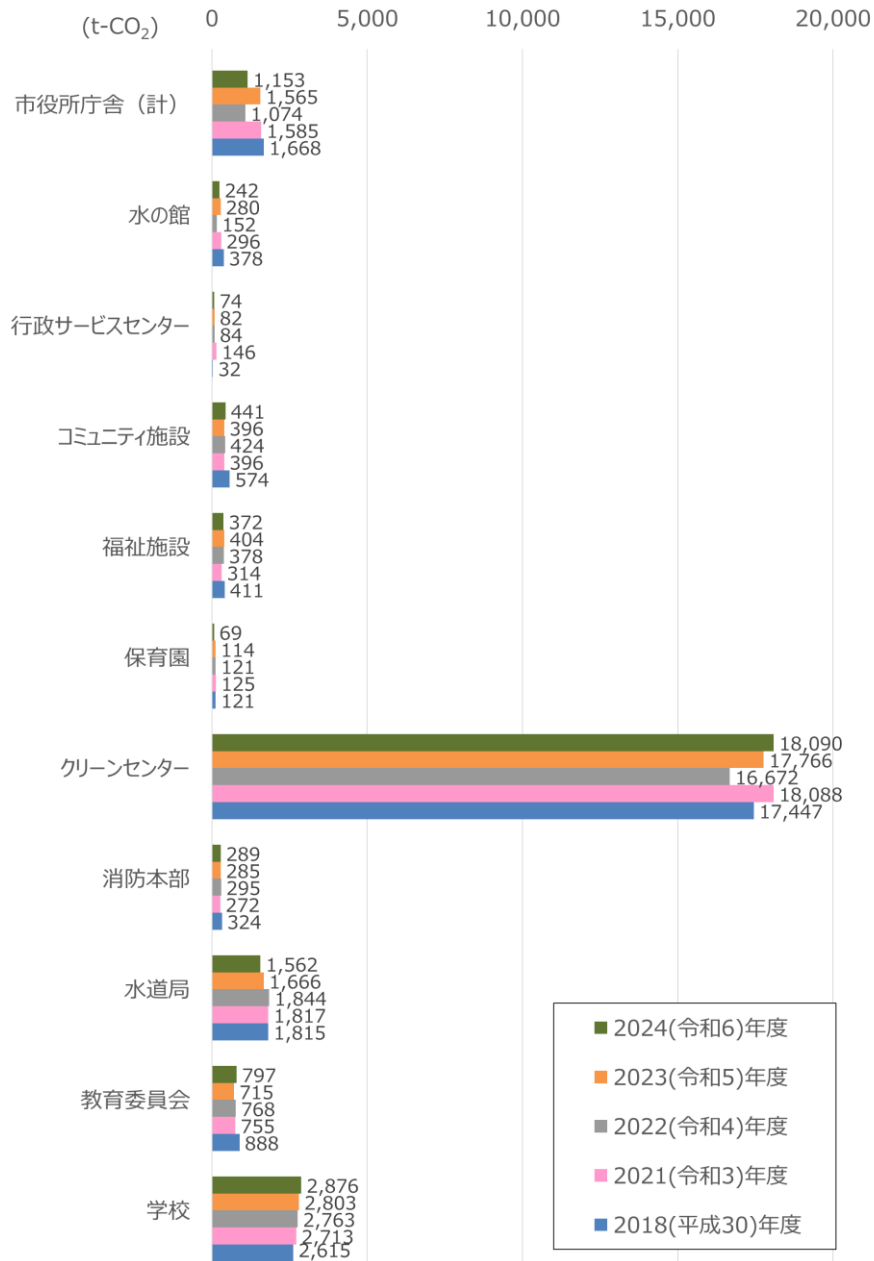


図 19 各施設別温室効果ガス排出量

4 使用量の状況

2024（令和6）年度の個別項目別の使用量については表のとおりです。

(1) 施設及び自動車における燃料使用量

表9 施設及び自動車における燃料使用量の状況

区分	施設における燃料使用量						自動車における燃料使用量		
	ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPG	都市ガス	ガソリン	軽油	LPG
	L	L	L	L	kg	m ³	L	L	kg
市役所庁舎	16	15	172	1,160	12,580	57,347	37,281	2,450	3,490
本庁舎	0	0	54	0	0	31,090	9,339	0	0
東別館	16	15	118	1,160	25	0	14,341	2,450	3,490
西別館	0	0	0	0	12,555	26,257	11,516	0	0
分館	0	0	0	0	0	0	2,085	0	0
水の館	0	0	0	0	0	15,522	2,332	0	0
行政サービスセンター	0	0	230	0	0	4	0	0	0
コミュニティ施設	0	0	0	0	0	40,081	0	0	0
福祉施設	0	0	600	33,065	37	60,139	17,373	599	0
保育園	0	0	0	0	0	9,129	319	0	0
クリーンセンター	0	0	78,734	0	1,364	0	976	4,789	352
消防本部	0	0	1,050	0	3,462	26,418	40,022	12,704	0
水道局	0	1,300	2,100	0	159	32,523	1,443		0
教育委員会	0	0	548	0	344	107,076	7,984	2,457	0
学校	345	0	3,871	0	0	567,531	0	0	0
我孫子市(全体)	361	1,315	87,305	34,225	17,947	915,770	107,729	22,999	3,841

備考) 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

(2) 電気使用量

表10 電気使用量の状況

区分	電気の使用量											
	東京電力 エナジー パートナー	丸紅 新電力	東京電力 パワー グリッド	ミツウロコ グリーン エネルギー	生活クラブ エナジー	サミット エナジー	ゼロワットパワー	V-Power	日立造船	シン・ エナジー	エネット	大和ハウス 工業
	kWh											
市役所庁舎	1,428,928	447,916	478,489	24,463	7,423	78,776	51,291	37,502	0	13,985	326,879	0
本庁舎	15,288	374,685	0	0	0	0	0	0	0		272,178	0
東別館	1,279,722	18,270	478,489	24,463	0	78,776	51,291	0	0			0
西別館	119,779	54,961	0	0	7,423	0	0	37,502	0		54,701	0
分館	14,139	0	0	0	0	0	0	0	0	13,985		0
水の館	293,822	135,113	0	0	0	0	0	0	0			0
行政サービスセンター	153,582	12,431	0	0	0	0	0	0	0			0
コミュニティ施設	145,098	242,054	0	237,288	0	0	0	0	0		91,786	0
福祉施設	46,506	107,602	137,642	0	0	0	0	0	0		61,475	0
保育園	81,220	0	74,572	0	0	0	0	0	0			0
クリーンセンター	102,909	80,920	96	0	0	0	266,773	0	126,260		52,401	0
消防本部	215,330	0	0	0	0	0	0	0	0			0
水道局	0	0	3,499,873	0	0	0	0	0	0			0
教育委員会	135,360	376,324	0	0	0	0	0	0	0		200,895	0
学校	0	1,965,447	0	347,363	0	0	0	0	0			1,256,579
我孫子市(全体)	2,602,754	3,367,807	4,190,672	609,114	7,423	78,776	318,064	37,502	126,260	13,985	733,436	1,256,579

備考) 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

環境への負荷の低減

～ 環境保全のための率先行動計画の推進 ～

環境負荷低減のための達成目標は、直接温室効果ガス排出量の算定に反映されませんが、市の事務・事業によって生じる環境への負荷を可能な限り減らしていくために、設定しています。

本市の活動は、「自動車の利用」「施設の利用」「工事の実施」「自然の利用」に大きく分けることができます。これらの活動によって、下の図に示すような環境への負荷が生じることになります。

それぞれの区分の活動によって生じる環境への負荷に対して、負荷量の削減に資する指標を抽出し、達成目標を設定することで、取り組みを推進します。

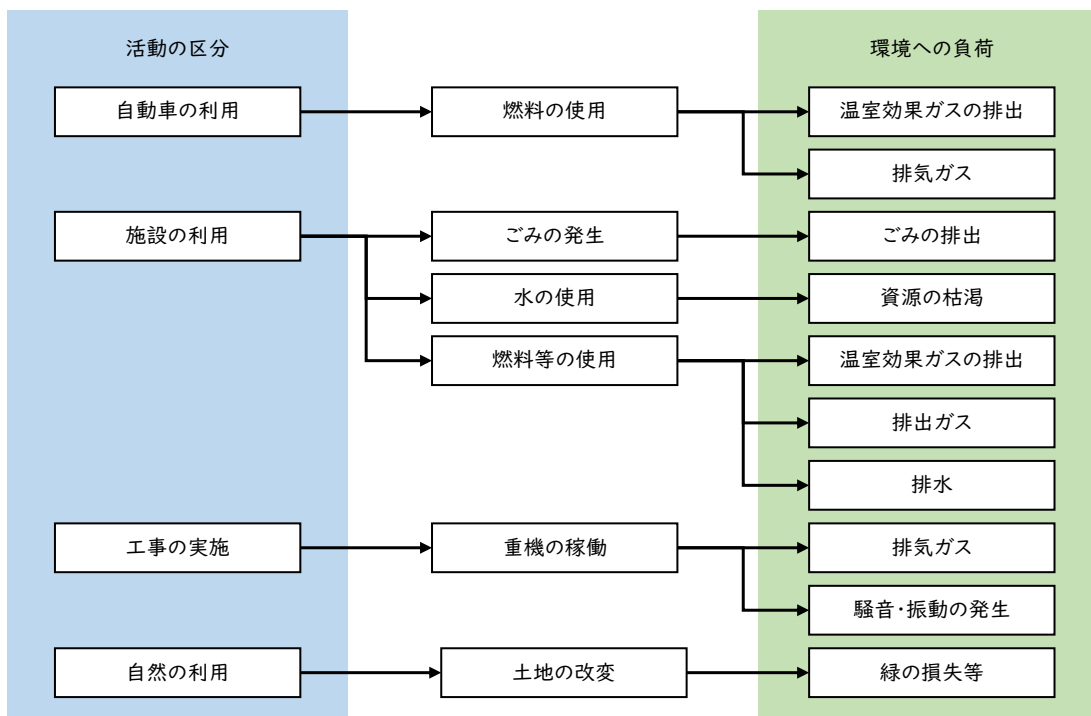


図 20 市の活動によって生じる環境への負荷

※廃棄物に関して目標を定めるのは市役所庁舎のみ。廃棄物は「可燃ごみ」を対象とし、資源物は除外。

1 市の事務事業（自動車の利用）

(1) 排気ガスによる負荷の低減に係る状況

① 低公害車割合

低公害車割合は、目標年の2025（令和7）年度までに6ポイントの増加を目指しています。

2024（令和6）年度の低公害車割合は53.7%で、基準年度である2018（平成30）年度の48.9%と比較して、4.8ポイント（増減率では9.8%）の増加となりました。

目標達成のためには、あと1.1ポイントの増加が必要です。

表 11 低公害車割合の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
低公害車割合	6ポイント増加	%	48.9	51.8	51.4	52.5	53.7	9.8%	54.8

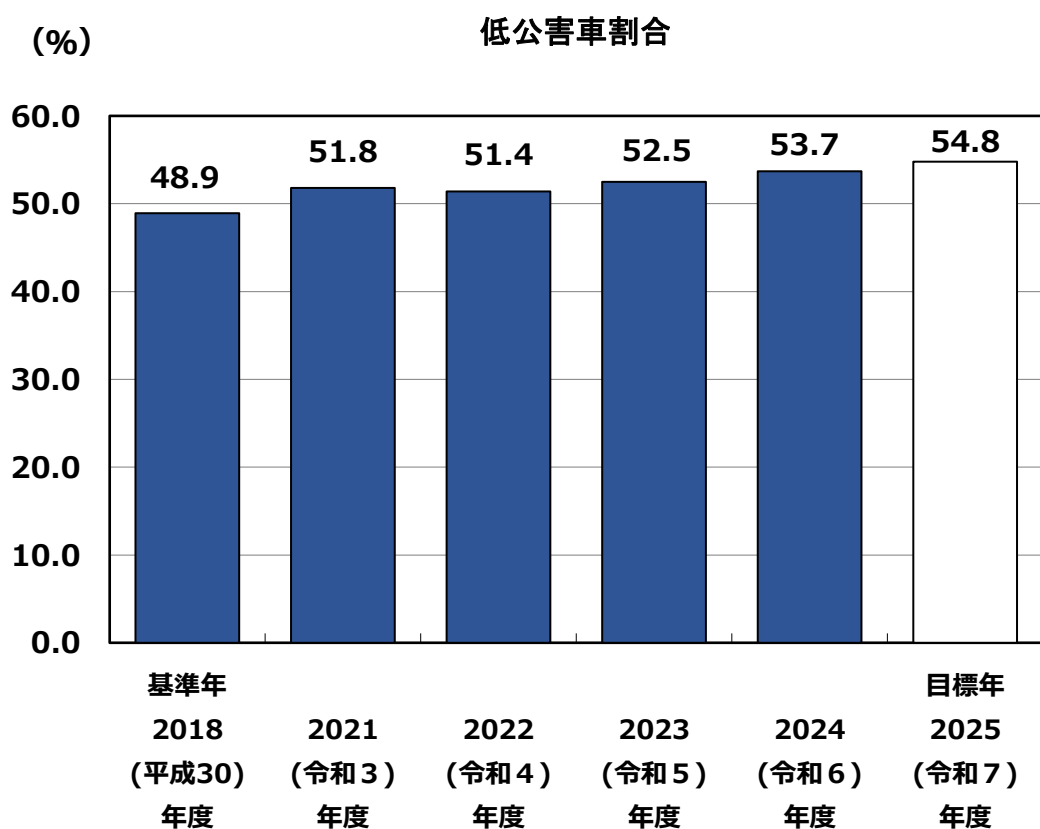


図 21 低公害車割合の状況

2 市の事務事業（施設の利用）

(1) ごみの減量・リサイクルの推進に係る状況

① 用紙購入量

用紙購入量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2024（令和6）年度の用紙購入量は、18,697,056枚であり、基準年である2018（平成30）年度の20,274,465枚と比較して1,577,409枚（増減率では7.8%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、2.9%（563,686枚）超過削減されており、目標を達成しています。

2024（令和6）年度の用紙購入量は、行政管理課が約244万枚で最も多く、次いで我孫子第三小学校が約128万枚、我孫子中学校が約101万枚となっています。

表 12 用紙購入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
用紙購入量	5%削減	枚	20,274,465	21,407,190	22,939,079	18,252,186	18,697,056	-7.8%	19,260,742

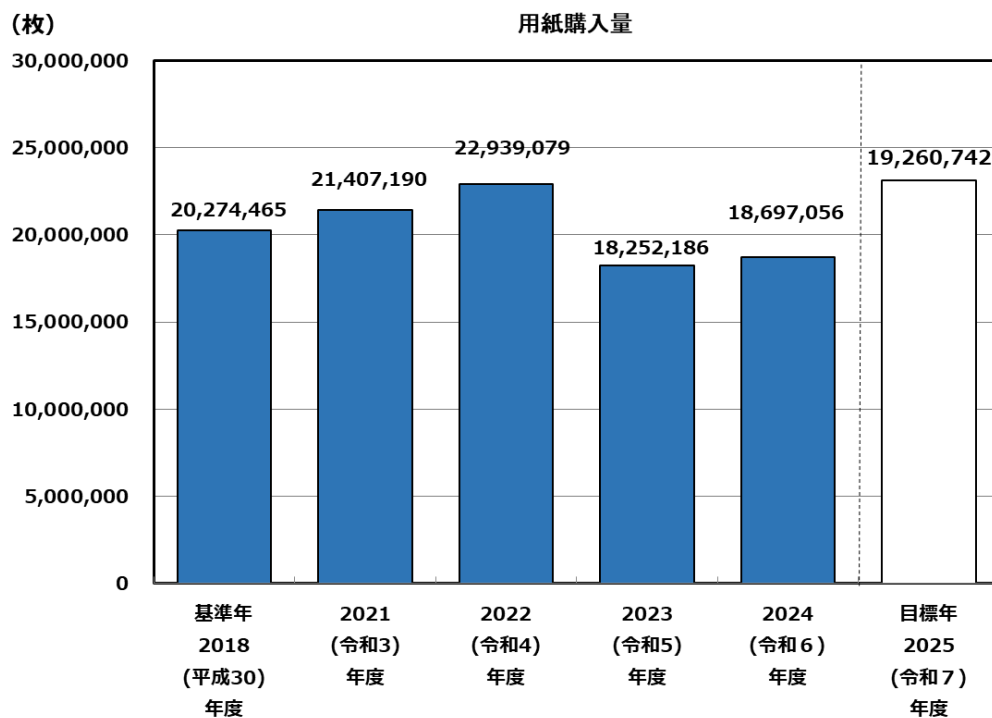


図 22 用紙購入量の状況

② 1人あたり用紙購入量

1人あたり用紙購入量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2024（令和6）年度の1人あたり用紙購入量は、13,251枚であり、基準年である2018（平成30）年度の15,877枚と比較して2,626枚（増減率では16.5%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約12.1%（1,832枚）超過削減されており、目標を達成しています。

表 13 1人あたり用紙購入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
用紙購入量	5%削減	枚	15,877	16,467	17,391	13,056	13,251	-16.5%	15,083

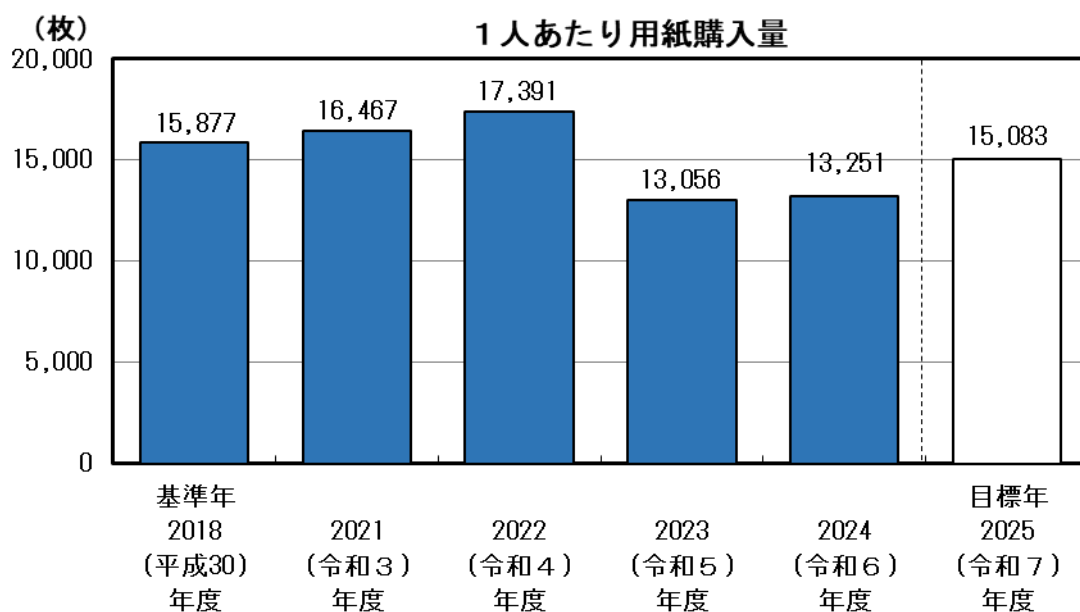


図 23 1人あたり用紙購入量の状況

③ 廃棄物発生量

市役所庁舎等における廃棄物発生量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2024（令和6）年度の廃棄物発生量は4,372kgであり、基準年である2018（平成30）年度の4,506kgと比較して、134kg（増減率では3%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約2.1%（91kg）超過しています。

表 14 廃棄物発生量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準 年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
※ 廃棄物発生量	5%削減	kg	4,506	3,127	3,955	3,954	4,372	-3%	4,281

※廃棄物に関して目標を定めるのは市役所庁舎のみ。廃棄物は「可燃ごみ」を対象とし、資源物は除外。

廃棄物発生量（年間推定値）＝一定期間の廃棄物発生量（1週間の平均値）×52（週/年）

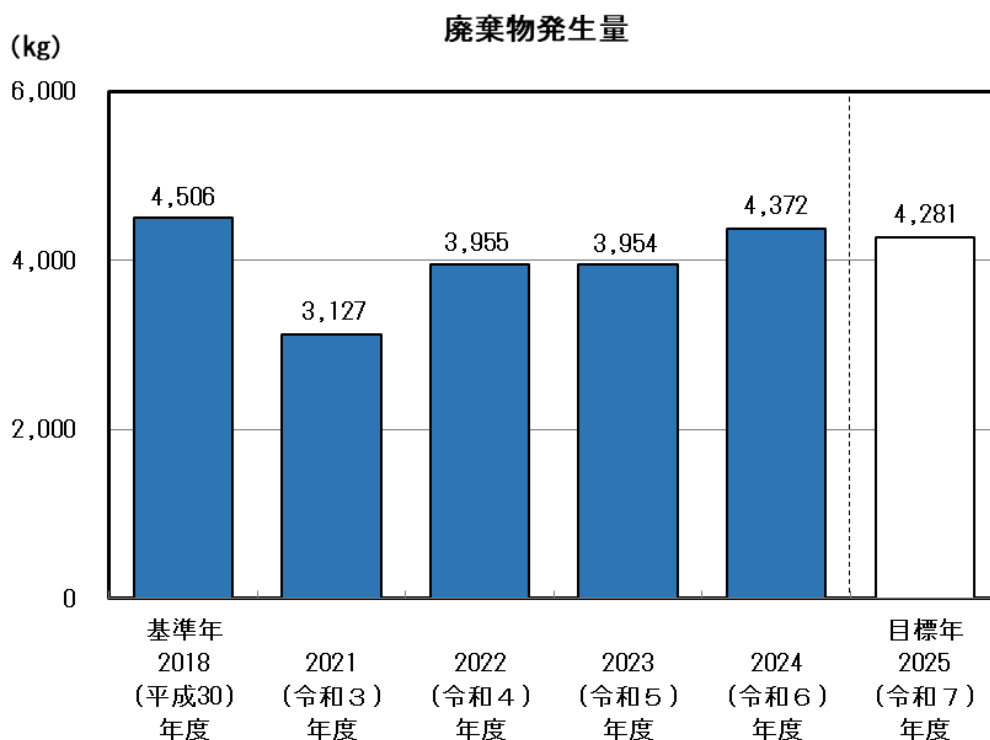


図 24 廃棄物発生量の状況

(2) 水の適正な利用に係る状況

① 水道使用量

水道使用量は、目標年の2025（令和7）年度までに5%の削減を目指しています。

2024（令和6）年度の水道使用量は合計194,310 m³であり、基準年である2018（平成30）年度の242,744 m³と比較すると、48,434 m³（増減率では20.0%）の減少となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、15.7%（36,297 m³）超過削減となり、目標を達成しています。

2024（令和6）年度の水道使用量の内訳は、学校が133,340 m³、学校以外が60,970 m³であり、学校が全体の約7割を占めています。

表 15 水道使用量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
水道使用量	5%削減	m ³	242,744	194,743	198,936	207,813	203,343	-16.2%	230,607
学校	—	m ³	169,187	144,328	148,299	142,124	133,340	-21.2%	—
学校以外	—	m ³	73,557	50,415	50,637	65,689	70,003	-4.8%	—

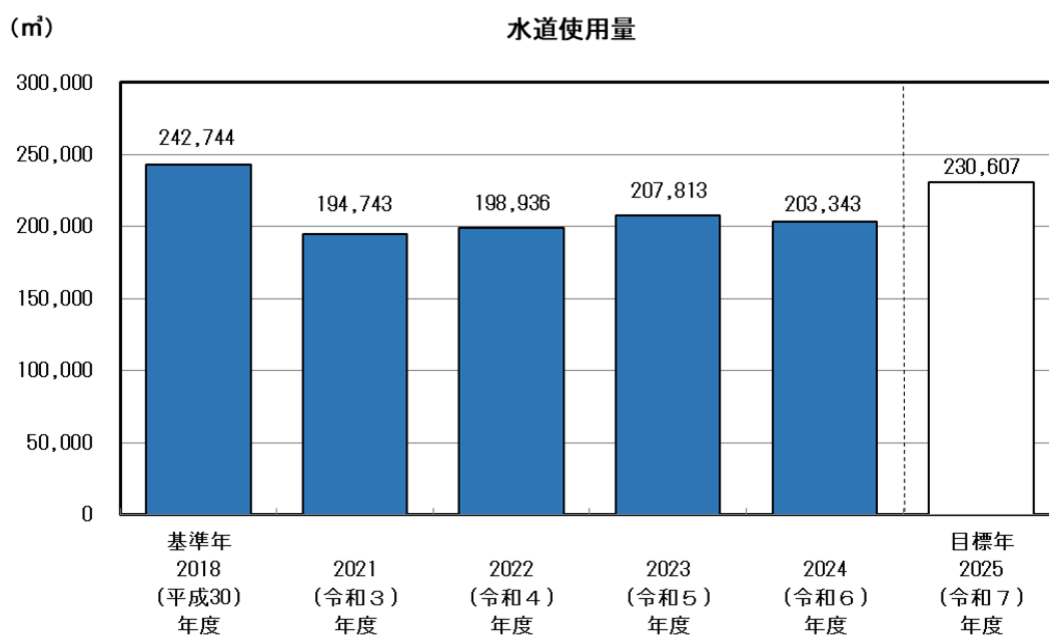


図 25 水道使用量の状況

(3) 再生可能エネルギー導入に係る状況

① 再生可能エネルギー導入量

再生可能エネルギー導入量は、目標年の2025（令和7）年度までに2,020kWの増加を目指しています。

2023（令和6）年度の再生可能エネルギー導入量は2,295kWであり、基準年である2018（平成30）年度の100kWと比較して2,195kW（増減率では2195%）の増加となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、175kW超過となり、目標を達成しています。

表 16 再生可能エネルギー導入量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
再生可能エネルギー導入量	2,020kW 増加	kW	100	100	100	2,090	2,295	2195%	2,120

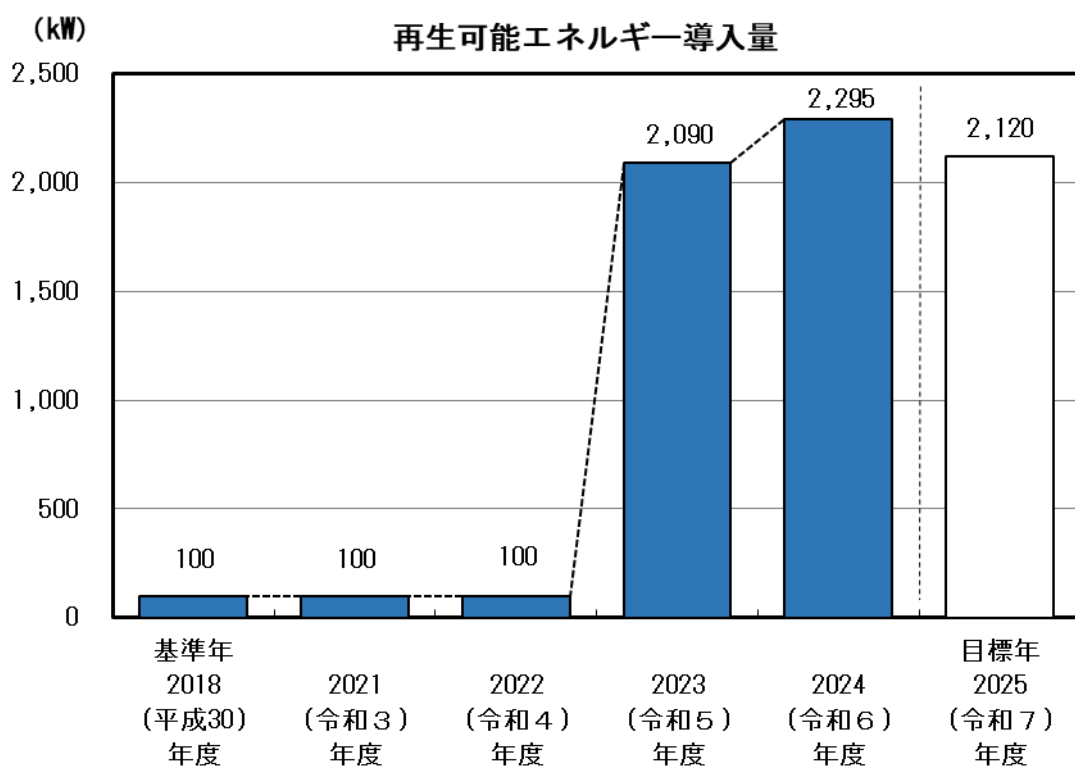


図 26 再生可能エネルギー導入量の状況

3 自然の利用

(1) 緑の損失等による影響の低減（生き物との共存）に係る状況

① 市内の緑の確保量

市内の緑の確保量は、目標年の2025（令和7）年度までに8haの増加を目指しています。

2024（令和6）年度の市内の緑の確保量は1,608haであり、基準年である2018（平成30）年度の1,609haと比較して1ha（増減率では0.1%）の減少となりました。

目標達成のためには、あと9haの確保が必要です。

表 17 市内の緑の確保量の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
市内の 緑の確保量	8ha増加	ha	1,609	1,612	1,609	1,608	1,608	-0.1%	1,617

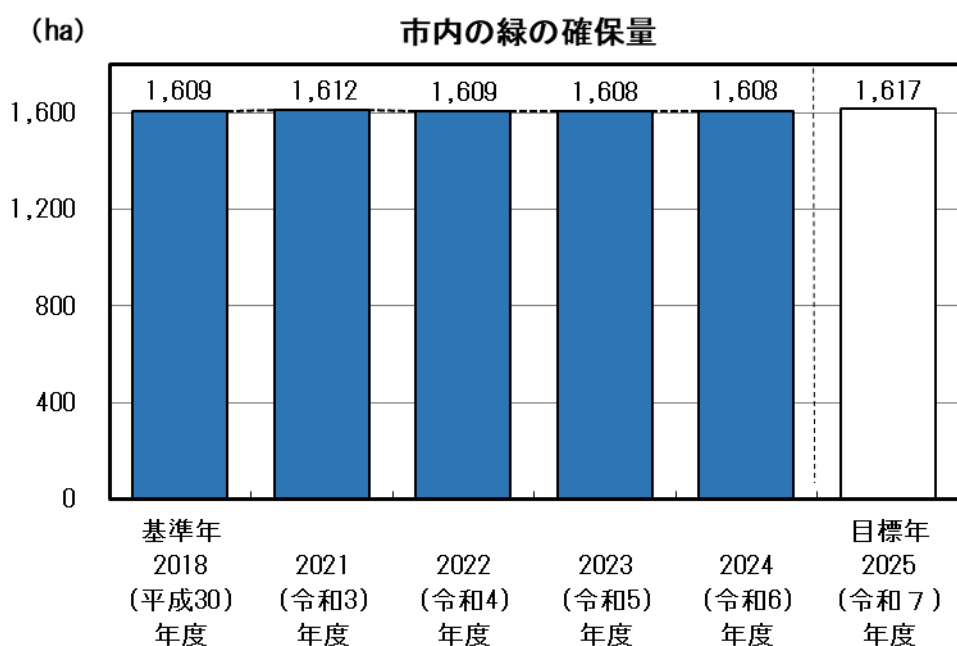


図 27 市内の緑の確保量の状況

② 都市公園面積

都市公園面積は、目標年の2025（令和7）年度までに8haの増加を目指しています。

2024（令和6）年度の都市公園面積は151haであり、基準年である2018（平成30）年度の150haと比較して1ha（増減率では0.7%）の増加となりました。

目標達成のためには、あと7haの増加が必要です。

表 18 都市公園面積の状況

項目	目標	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増減率	目標年 2025 (令和7) 年度
都市公園面積	8ha増加	ha	150	150	150	150	151	+0.7%	158

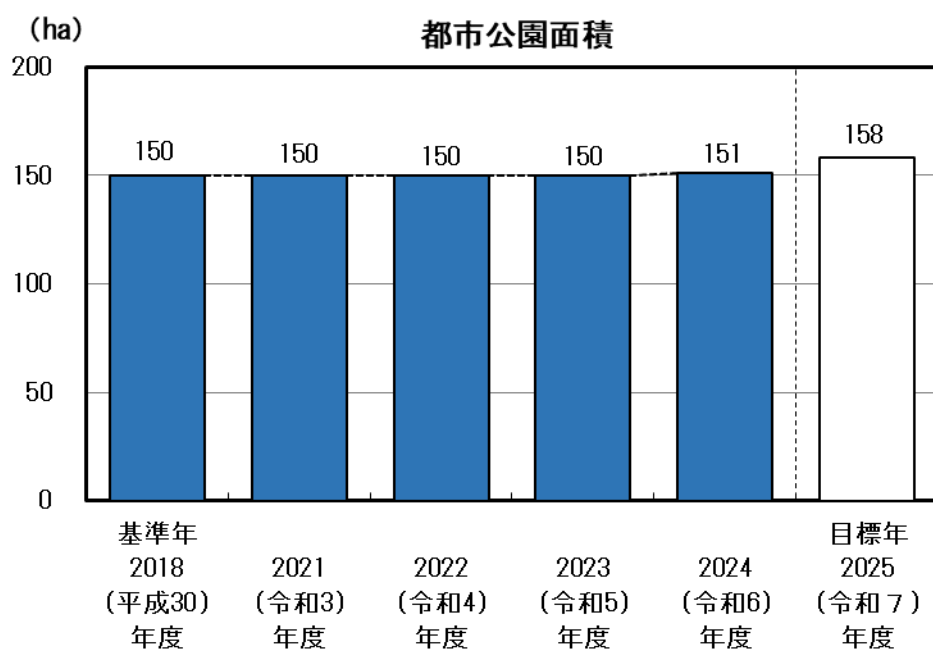


図 28 都市公園面積の状況

市民・事業者の環境に配慮した行動の促進

～「市民・事業者への環境配慮指針」の普及～

「市民・事業者への環境配慮指針」の普及度は、『ごみの焼却量』、『補助事業の交付状況』で測っています。

また、本市の職員は、「市民・事業者への環境配慮指針」に定めた行動を進んで実践し、市民の模範となることにより、市民・事業者の環境に配慮した行動の促進を図ることが必要です。このため『ノーカーデー実施率』について目標を設定し、目標の達成に向けて努力するものとしています。

1 一般廃棄物焼却量

4%削減する

2018（平成30）年度 28,498 トンを 2025（令和7）年度に 27,358 トンとする

2 補助事業の交付状況

表 19 補助事業の交付状況

項目		目標 (増加量)	基準年 2018(平成30) 年度	目標年 2025(令和7) 年度
生ごみ 処理機	コンポスト容器 ぼかし容器	176基	13,303基	13,620基
	機械式生ごみ処理機	141基		
	計	317基		
太陽光発電システム		500件	1,314件	1,814件
省エネルギーシステム		340件	174件	514件
雨水貯留タンク		91施設	619施設	710施設
高度処理型合併処理浄化槽		245基	496基	741基

備考) 基準年、目標年に示す数値は、延べ数である。

3 市役所庁舎勤務の職員によるノーカーデー実施率

2025（令和7）年度の実施率を 50%とする

1 一般廃棄物焼却量（前掲のとおり）

2 補助事業の交付状況

① 生ごみ処理機

生ごみ処理機に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計317基の増加を目指しています。

2024（令和6）年度までの生ごみ処理機に係る補助件数は、13,580基であり、基準年である2018（平成30）年度の13,303基と比較して277基増加となりました。

目標達成のためには、あと40基の増加が必要です。

表20 生ごみ処理機に係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
コンポスト容器、ぼかし容器	176	基	11,905	11,996	12,030	12,061	12,088	183	12,081
機械式生ごみ処理機	141	基	1,398	1,435	1,452	1,473	1,492	94	1,539
計	317	基	13,303	13,431	13,482	13,534	13,580	277	13,620

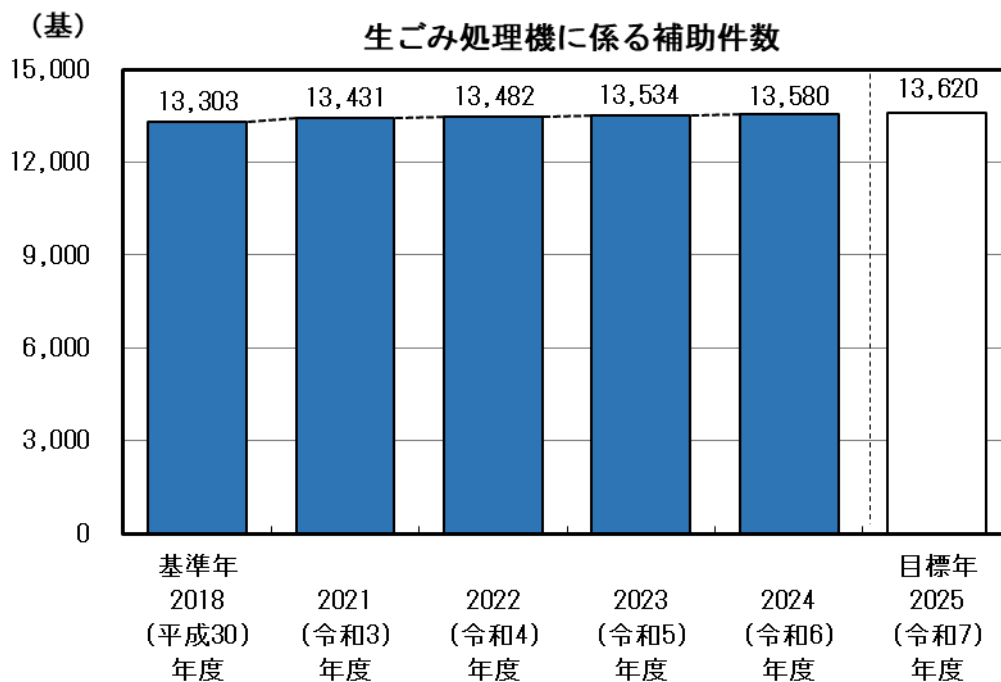


図29 生ごみ処理機に係る補助件数の状況

② 太陽光発電システム

太陽光発電システムに係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに500件の増加を目指しています。

2024（令和6）年度までの太陽光発電システムに係る補助件数は1,540件であり、基準年である2018（平成30）年度の1,314件と比較して226件増加となりました。

目標達成のためには、あと274件の増加が必要です。

表 21 太陽光発電システムに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
太陽光発電システム	500	件	1,314	1,409	1,446	1,498	1,540	226	1,814

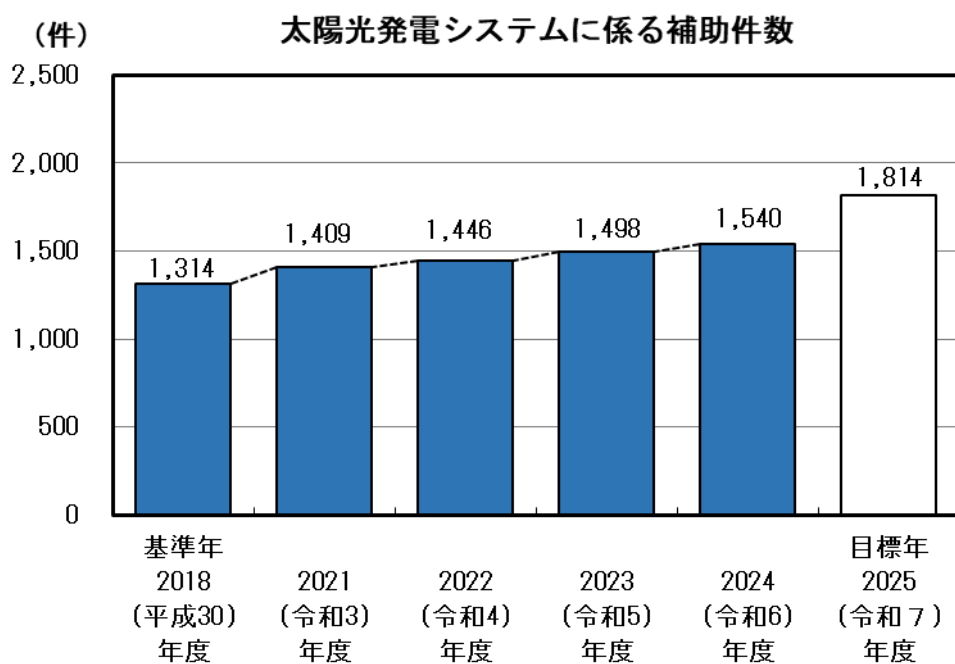


図 30 太陽光発電システムに係る補助件数の状況

③ 省エネルギーシステム

省エネルギーシステム（※蓄電池、エネファーム、断熱窓、電気自動車等、V2H）に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに340件の増加を目指しています。

2024（令和6）年度までの省エネルギーシステムに係る補助件数は783件であり、基準年である2018（平成30）年度の174件と比較して609件増加となりました。

2025（令和7）年度の目標値に対して、約52.3%（269件）超過となり、目標を達成しています。

表 22 省エネルギーシステムに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
省エネルギーシステム	340	件	174	393	492	635	783	609	514

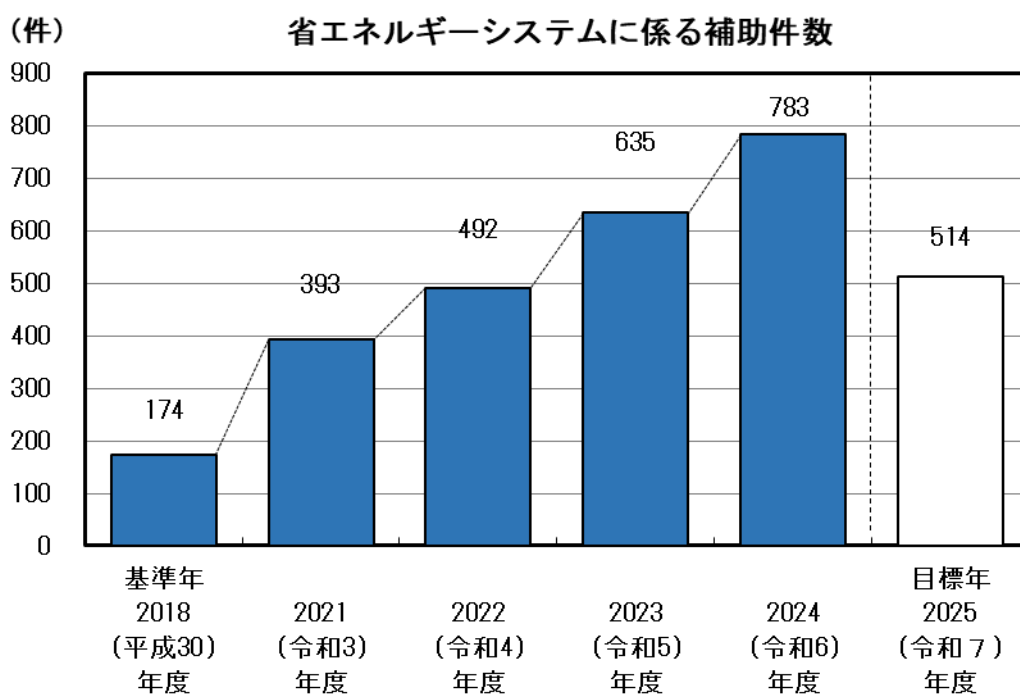


図 31 省エネルギーシステムに係る補助件数の状況

④ 雨水貯留タンク

雨水貯留タンクに係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計91施設の増加を目指しています。

2024（令和6）年度までの雨水貯留タンクに係る補助件数は675施設であり、基準年である2018（平成30）年度の619施設と比較する56施設増加となりました。

目標達成のためには、あと35施設の増加が必要です。

表 23 雨水貯留タンクに係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
雨水貯留タンク	91	施設	619	648	660	666	675	56	710

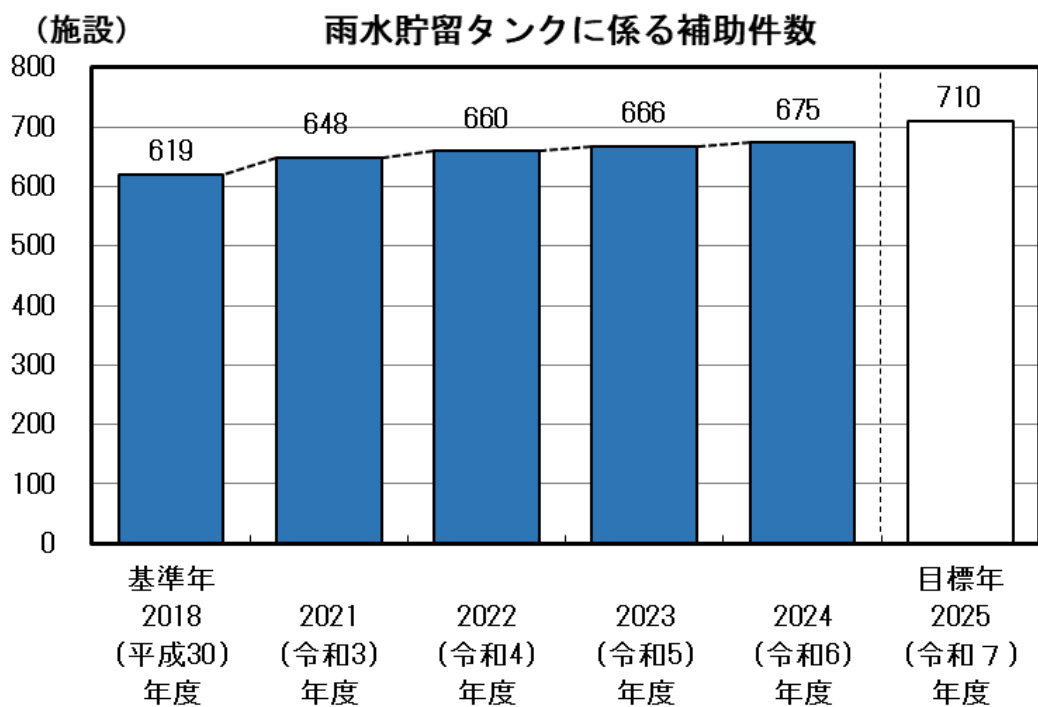


図 32 雨水貯留タンクに係る補助件数の状況

⑤ 高度処理型合併処理浄化槽

高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数は、目標年の2025（令和7）年度までに合計245基の増加を目指しています。

2024（令和6）年度までの高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数は634基であり、基準年である2018（平成30）年度の496基に対して138基増加しました。

目標達成のためには、あと107基の増加が必要です。

表 24 高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数の状況

項目	目標 (増加量)	単位	基準年 2018 (平成30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準 年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
高度処理型合併 処理浄化槽	245	基	496	572	595	620	634	138	741

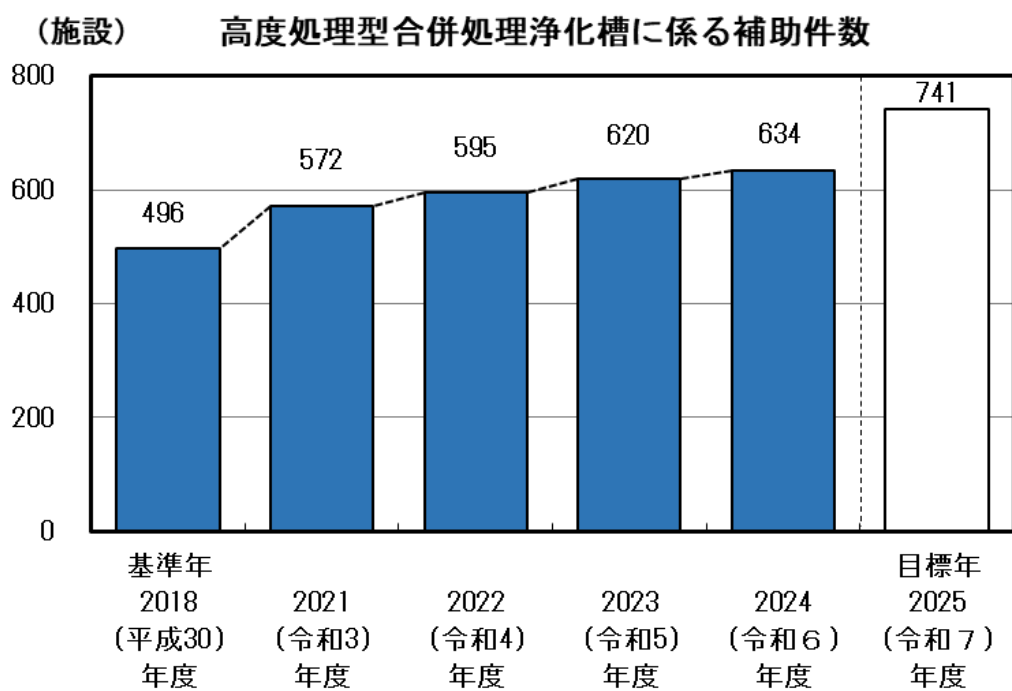


図 33 高度処理型合併処理浄化槽に係る補助件数の状況

3 ノーカーデー実施率

ノーカーデー実施率は、目標年の2025（令和7）年度までに50%（延べ人数、市役所庁舎のみ）を目指しています。

2024（令和6）年度の市役所庁舎でのノーカーデー実施率は40%であり、目標値を10ポイント下回りました。理由としては、酷暑や代替手段の確保が難しく、公共交通機関の利用を避ける職員が多かったことが挙げられます。

なお、2024（令和6）年度の市役所庁舎外でのノーカーデー実施率は24%、市全体では32%でした。

表 25 ノーカーデー実施率の状況

項目		目標	単位	基準年 2018 (平成 30) 年度	2021 (令和3) 年度	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	2024 (令和6) 年度	対基準年 増加量	目標年 2025 (令和7) 年度
ノーカー デー 実施率	市役所庁舎	50%	%	59	40	38	37	40	-19	50
	市役所庁舎外	—	%	38	29	26	25	24	-14	—
	市全体	—	%	48	34	32	31	32	-16	—

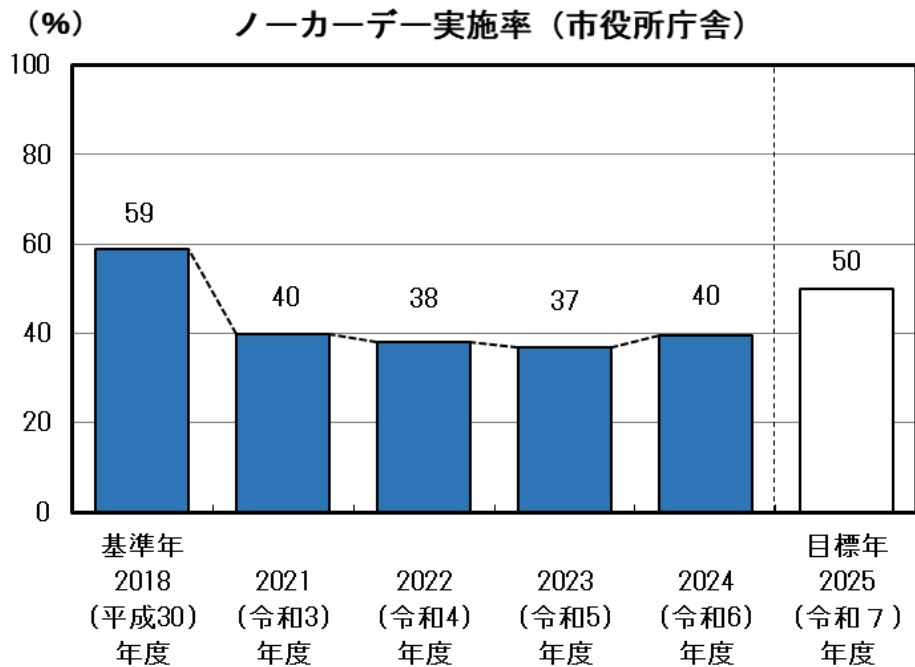


図 34 ノーカーデー実施率の状況（市役所庁舎）